（様式－１）

協 定 参 加 資 格 確 認 申 請 書

平成２９年　　月　　日

国土交通省　関東地方整備局

北首都国道事務所長　山田　博道　様

申請者

住　　　所

会　社　名

代表者氏名

平成２９年　　月　　日付で募集のありました「無人航空機による災害応急対策活動(撮影等)に関する協定」に係る応募資格について確認されたく、下記の資料を添えて申請します。

なお、予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条の規定に該当する者でないこと及び添付資料の内容については事実と相違ないことを誓約します。問い合わせ先 は下記のとおりです。

記

1. 公募要領３．（１）②に定める｢無人航空機の飛行に関する許可・承認｣の実績が確認できることを記載した書面（様式－２－１）
2. 無人航空機の所有（確保）状況及び機器の性能が確認できることを記載した書面、撮影能力の性能が確認できる書面（様式－２－２）
3. 公募要領３．（１）③に定める活動の実施体制を記載した書面（様式－３）
4. 公募要領３．（１）④に定める｢無人航空機を飛行させる者に関する飛行経歴・知識・能力確認書｣（様式－４）
5. 公募要領３．（１）⑤に定める機器のメンテナンス体制を記載した書面（様式－５）
6. 公募要領３．（１）⑥に定める希望する担当区間を申告する書類（様式－６）
7. 公募要領３．（１）⑦に定める一般競争参加資格認定通知書の写し
8. 公募要領３．（１）⑧に定める活動履行の確実性を確認出来る書面（様式－７）

問い合わせ先

担 当 者　：　○○　○○

部　　署　： ○○本店　○○部 ○○課

電話番号　： ○○○－○○○－○○○○

Ｆ Ａ Ｘ　： ○○○－○○○－○○○○

ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　：　○○○＠○○○．○○．○○

（様式－２－１）

会社名：　(株)●●●コンサルタント

【許可・承認の実績】

・｢無人航空機の飛行に関する許可・承認｣の実績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 許可承認番号 |  |  |
| 許可承認日 |  |  |
| 飛行の目的 | 空撮 |  |
| 飛行経路（主な地点名） | ●●県●●市 |  |
| 申請事項 | 目視外飛行 |  |

※許可承認書（鏡）の写しを添付願います。

（様式－２－２）

会社名：　(株)●●●コンサルタント

【資機材の性能】

・無人航空機の所有（確保）状況及び機器の性能が確認できる資料

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 製造者名 | 機種名（型式） | 製造番号 | 許容風速（m/s） | 飛行時間(分) | 安全機能の種類 | 技適マーク | 備考 |
| 衝突 | 墜落 |
| 記入例 |  |  |  | １０ | ３０ | 障害物自動回避機能 | パラシュート | 適合 |  |
| １ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※機種が複数台ある場合は、機種毎に記入して下さい。

評価はカタログ値と致します。カタログ等性能が確認できる資料の添付をお願いします。

また、自社規定・改造などにより、カタログ値以外の数値を使用している場合は、自社規定の性能および改造の内容が分かる資料を添付願います。

・撮影能力が確認できる資料

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 番号 | カメラ機種 | 解像度 | その他性能（暗視機能など） |
| 静止画 | 動画 |
| １ |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |
| ３ |  |  |  |  |

※機種が複数台ある場合は、機種毎に記入して下さい。

（様式－３）

会社名：　(株)●●●コンサルタント

【活動の実施体制】

・本活動を総合的に管理する技術者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 氏名 | 在籍する社名本支店名 | 在籍する本支店の住所 |
| １ |  |  |  |

・無人航空機を飛行させる者一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 氏名 | 飛行させることができる航空機 |
| １ |  |  |
| ２ |  |  |
| ３ |  |  |

※緊急時に速やかに対応出来る者を記載願います。

欄が不足する場合は表を追加願います。

・緊急時の体制及び出発地からの距離

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 従事者数（名） | 班数（班） | 出発地 | 出発地から活動区域の距離・時間 | 移動手段 |
| 【記入例】１班 | ２ | １ | ●●県●●市●丁目●番 | ２km（３０分） | 徒歩 |
| １ |  |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |  |

※実務を担当する会社（作業基地など）から、活動予定区間までの直線距離を縮尺５万分の１程度の地図に明記して添付願います。複数班の対応が可能な場合は班毎に記載願います。

（様式－４）

会社名：　(株)●●●コンサルタント

**無人航空機を飛行させる者に関する飛行経歴・知識・能力確認書**

無人航空機を飛行させる者「○○　○○」は、「無人航空機の飛行に関する許可・承認の審査要領」の４－２に掲げる飛行経歴・知識・能力を有していることを確認した。

|  |  |
| --- | --- |
| 確認事項 | 確認結果 |
| 飛行経歴 | 無人航空機の種類別に、10時間以上の飛行経歴を有すること。 | [ ] 適 |
| 知　識 | 航空法関係法令に関する知識を有すること。 | [ ] 適 |
| 安全飛行に関する知識を有すること。・飛行ルール（飛行の禁止空域、飛行の方法）・気象に関する知識・無人航空機の安全機能（フェールセーフ機能　等）・取扱説明書に記載された日常点検項目・自動操縦システムを装備している場合には、当該システムの構造及び取扱説明書に記載された日常点検項目・無人航空機を飛行させる際の安全を確保するために必要な体制・飛行形態に応じた追加基準 | [ ] 適 |
| 能　力 | 一般 | 飛行前に、次に掲げる確認が行えること。・周囲の安全確認（第三者の立入の有無、風速・風向等の気象　等）・燃料又はバッテリーの残量確認・通信系統及び推進系統の作動確認 | [ ] 適 |
| 遠隔操作の機体 | GPS等の機能を利用せず、安定した離陸及び着陸ができること。 | [ ] 適 |
| GPS等の機能を利用せず、安定した飛行ができること。・上昇・一定位置、高度を維持したホバリング（回転翼機）・ホバリング状態から機首の方向を90°回転（回転翼機）・前後移動・水平方向の飛行（左右移動又は左右旋回）・下降 | [ ] 適 |
| 自動操縦の機体 | 自動操縦システムにおいて、適切に飛行経路を設定できること。 | [ ] 適 |
| 飛行中に不具合が発生した際に、無人航空機を安全に着陸させられるよう、適切に操作介入ができること。 | [ ] 適 |

※無人航空機を飛行させる者毎に作成願います。

（様式－５）

会社名：　(株)●●●コンサルタント

【機器のメンテナンス】

・機器のメンテナンスに係わる体制等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 記入例 | １ | ２ |
| 製造者名 | ▲▲ドローン（株） |  |  |
| 機種名 | ▲▲DX型 |  |  |
| 製造番号 | ▲▲DX－▲▲▲▲ |  |  |
| 点検・整備実施時期 | 平成２９年１０月 |  |  |
| 点検・整備実施者※ | 自社で実施 |  |  |
| 点検時の異常の有無 | 無し |  |  |
| 整備内容 | 外観目視点検主翼モーター４基交換 |  |  |
| 定期点検・整備の間隔 | 飛行１０時間おき |  |  |

※点検整備を他社に外注している場合は、点検整備を実施した会社名を記入する。

（様式－６）

会社名：　(株)●●●コンサルタント

【希望する担当区間】

・希望する担当区間

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 希望 | 第一希望 | 第二希望 | 第三希望 | 第四希望 | 摘要 |
| 【記入例】１班 | 区間③ | 区間④ | 区間② | － |  |
| １班 |  |  |  |  |  |
| ２班 |  |  |  |  |  |

※複数班の対応が出来る場合は班毎の希望区間を記載願います。希望区間は複数の区間を記載願います。区間番号は申請書（別紙－１　協定締結区間割り）を参照願います。

申請状況により、第一希望以外の区間を担当していただく場合があります。

（様式－７）

会社名：　(株)●●●コンサルタント

【活動履行の確実性】

・他団体との災害活動協定の締結状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 協定名称 | 締結団体名 | 協定期間 | 協定の内容 |
| 【記入例】大規模地震発生時の情報収集に関する協定 | ●●県 | 平成●年●月●日～平成●年●月●日 | 無人航空機による空撮 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

※協定締結者が北首都国道事務所以外の団体と無人航空機を使用した災害活動等の協定を結んでいる場合に記載願います。締結実績がない場合は｢なし｣と記入願います。

・活動履行の確実性が確保出来る理由

|  |
| --- |
| 北首都国道事務所の活動要請に対応可能な理由：【記入例】・●●県と締結している災害活動協定の活動範囲は●●県●●地方を想定しており●●支店●●事業所で対応する計画となっている。国道４号（東京都内）で実施する活動は▲▲事業所が対応するため資機材、技術者ともに重複することがなく、北首都国道事務所の協力要請に対応可能である。・●●支店には管理責任者●名、パイロット●名が所属しており、災害発生時には●班が同時に活動を実施する能力がある。災害協定締結数は■団体であるため、他団体との協定を同時に履行する事が可能である。・弊社は●●協会が行政機関と締結している災害活動協定に●●協会構成員として参加しているが、上記協定による飛行は、発災後に●●協会と行政機関とが決定した被災箇所を調査する協定であるのに対し、本協定による飛行は、発災直後の被災箇所の有無を確認する緊急点検が主となる飛行であることから、飛行する時間帯が重複する可能性は無いため、北首都国道事務所の協力要請に対応可能である。 |

※北首都国道事務所以外の団体と無人航空機を使用した災害活動の協定を結んでいる場合に北首都国道事務所の協力要請に対応出来る理由を記載願います。

（様式－８）

協定参加資格確認申請書提出時のチェックリスト

協定参加資格確認申請書提出時には、本チェックリストにより提出書類が添付されていることを確認下さい。

□ 協定参加資格確認申請書（様式－１）

□｢無人航空機の飛行に関する許可・承認｣の実績、無人航空機の所有状況及び機器の性能が確認できる資料（様式－２－１～２）

□ 活動の実施体制が確認できる資料（様式－３）

□実務を担当する会社（作業基地等）から活動区間までの経路図（５万分１程度の地図）

□ ｢無人航空機を飛行させる者に関する飛行経歴・知識・能力確認書｣（様式－４）

□ メンテナンス体制が整備されていることが確認できる資料（様式－５）

□希望する担当区間を申告する書面（様式－６）

□活動履行の確実性が確保出来る理由が確認出来る書面（様式－７）

□ 一般競争参加資格認定通知書の写し

これらの添付資料が未提出の場合は参加資格を認めない場合がありますので、ご注意下さい。